

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特 許 公 報(B2)

(11) 特許番号

特許第4619779号
(P4619779)

(45) 発行日 平成23年1月26日(2011.1.26)

(24) 登録日 平成22年11月5日(2010.11.5)

(51) Int.Cl.

F I

A 4 1 G 3/00 (2006.01)

A 4 1 G 3/00

J

A 4 1 G 3/00

D

請求項の数 9 (全 6 頁)

(21) 出願番号 特願2004-518832 (P2004-518832)
 (86) (22) 出願日 平成15年6月18日(2003.6.18)
 (65) 公表番号 特表2005-532485 (P2005-532485A)
 (43) 公表日 平成17年10月27日(2005.10.27)
 (86) 国際出願番号 PCT/FR2003/001861
 (87) 国際公開番号 W02004/004501
 (87) 国際公開日 平成16年1月15日(2004.1.15)
 審査請求日 平成18年5月8日(2006.5.8)
 (31) 優先権主張番号 02/08414
 (32) 優先日 平成14年7月5日(2002.7.5)
 (33) 優先権主張国 フランス (FR)

(73) 特許権者 502377442
 エンヌ ジェ ディフュージャー エス
 アーエルエ
 フランス国、75010 パリ、リュ ド
 パラディ 54
 (74) 代理人 100093735
 弁理士 荒井 鐘司
 (74) 代理人 100105429
 弁理士 河野 尚孝
 (74) 代理人 100108143
 弁理士 嶋崎 英一郎
 (72) 発明者 ニコ, ジェローム
 フランス国、29000 カンペール、シ
 ュマン ド ケルラガツ 34

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 かつら用の柔軟な接着部材と、このような部材を備えたかつら

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ボンネットの内面(5)が、少なくとも片面にポリシロキサンの薄層または薄膜(3)を塗布した柔軟な支持繊維帯(2)を有するかつら用の柔軟な接着部材(1)で部分的に構成されており、前記ポリシロキサンの薄層または薄膜(3)からなる内面が、前記かつらをかぶるとき、ユーザーの頭の肌に取り付けられるように配向されており、前記接着部材(1)が相互に連結及び/または連続していることを特徴とするかつら。

【請求項 2】

前記支持繊維帯(2)が、弾性の繊維からなる請求項 1 に記載のかつら。

【請求項 3】

前記支持繊維帯(2)が、複数の方向に延伸可能である請求項 2 に記載のかつら。

【請求項 4】

前記支持繊維帯(2)に塗布される前記ポリシロキサンの薄層または薄膜(3)の重量が、100～300 g/m²である請求項 1 から 3 のいずれか一項に記載のかつら。

【請求項 5】

前記薄層または薄膜(3)を構成するポリシロキサンが、単一成分のポリシロキサンである請求項 1 から 4 のいずれか一項に記載のかつら。

【請求項 6】

前記薄層または薄膜(3)を構成するポリシロキサンが、溶媒を含まないポリシロキサンである請求項 1 から 5 のいずれか一項に記載のかつら。

10

20

【請求項 7】

柔軟な接着部材（１）の少なくとも幾つかに、頭髮を支持する「ウェフト」または「横糸」が縫いこまれるか、または、嵌め込まれていることを特徴とする請求項 1 から 6 のいずれか一項に記載のかつら。

【請求項 8】

柔軟な接着部材（１）の全てに、頭髮を支持する「ウェフト」または「横糸」が縫いこまれるか、または、嵌め込まれていることを特徴とする請求項 1 から 6 のいずれか一項に記載のかつら。

【請求項 9】

天然または人工の頭髮（６）が、柔軟な接着部材に直接植え付けられる請求項 7 または 8 に記載のかつら。

10

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【０００１】

本発明は、ユーザーの頭部の所望の位置にかつらを保持するために、かつらに取付可能な柔軟な接着部材に関し、この場合、本発明は、その用途（かつら、入れ毛、ヘアピース）とは無関係に、あらゆるタイプの付け毛に適用され、さらには、他のタイプの髪形に適用される。

【０００２】

本発明は、また、滑り止めの柔軟部材、もしくは滑り止め加工を施した柔軟部材を備えるかつらに関する。

20

【背景技術】

【０００３】

付け毛、かつら、および同等物は、内部支持体を含み、この支持体は、大抵が特別なタイプのネットから構成され、このネットの上に天然または人工の頭髮が植え込まれ、内部支持体が、ユーザーの頭部へのかつら固定手段を備えている。こうした固定手段には様々なタイプがある。

【０００４】

一般的な実施形態によれば、かつらは、弾性ネット帯からなるキャップを含み、頭髮を支持する「ウェフト」または「横糸」がこのネット帯に縫いこまれて、ボンネットを形成している。これらの弾性帯は、ランジェリーでよく使用されているものと同じタイプである（ブラジャーのストラップその他）。これらの弾性帯は、幾分厚ぼったく、多少とも幅広で、さらには多少の弾性がある（伸び方が異なる）。

30

【０００５】

かつらは、理論上、次のような必要性を満たさなければならない。

ユーザーの頭部にかつらを簡単かつ素早く設置可能であること。

できるだけ軽量であること。

十分にくっついて滑らないこと。

ユーザーの肌を刺激しないこと。

クリーニング可能で、経時的に清潔さを保つこと。

40

天然毛にできるだけ近い外観をもつこと。

被りやすいこと。

ほぼ瞬時に容易にはずせること。

【０００６】

また、かつらは、ユーザーの皮膚に外傷を起こす作用のあるものであってはならない。

【０００７】

市販されている様々なかつらは、上記の必要性の幾つかを満たすが、完全に満足を与えるものは一つもない。

【０００８】

上記の要求事項に最大限に応えるために、出願人は、内部支持体またはボンネットが、

50

その内面に固定された柔軟な滑り止め部品を備え、少なくともユーザーの頭部の肌と接する面で延伸性の薄膜をなす物質を含浸した延伸性の支持繊維帯からこの部品を構成し、延伸性の薄膜が、前記支持繊維帯への含浸および乾燥後、軟化温度、たとえば周囲の温度よりも低い温度で粘着性または接着性がなくなる滑り止め面を有するかつらを既に提案している（特許文献１）。

【０００９】

上記の文献に記載された実施形態によれば、延伸性の支持繊維帯に含浸させて前記支持繊維帯の少なくとも片面を被覆する接着物質からなる薄膜は、ポリウレタン類の中から選択される２個の接着剤の混合物から構成される。

【００１０】

上記の特徴を持つ滑り止め部品により、このような部品を備えたかつらは、専門家の手を借りなくてもユーザーが簡単に素早く取り付けられる。
従来の製品よりも頭部にぴったりと保持され、不快感がない。
外傷作用や不具合なしに、瞬時に簡単に取り外せる。

【００１１】

従って、特許文献１に記載されたかつらは、従来の製品よりもずっと進んだ製品である。

【００１２】

しかしながら、特に、次のような新しい材料を作り出すことが望ましく思われる。
製品を付ける人の肌との接触感が、一層柔らかく、一層快適な材料。
肌に対してさらに中性で刺激がない材料。
肌との接着品質を向上させた材料。

【００１３】

【特許文献１】国際公開第９９／４４４５２号パンフレット

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

【００１４】

本発明は、特にかつらの製造に適した、上記の材料を提供することをめざしている。本発明は、また、この材料を用いたかつらに関する。

【課題を解決するための手段】

【００１５】

本発明のかつら用の柔軟な接着部材は、少なくとも片面にポリシロキサンの薄層または薄膜（３）を塗布した柔軟な支持繊維帯（２）を有することを特徴とする。

前記支持繊維帯（２）が、弾性の繊維からなること、複数の方向に延伸可能であること、前記支持繊維帯（２）に塗布される前記ポリシロキサンの薄層または薄膜（３）の膜重量が、 $100 \sim 300 \text{ g/m}^2$ であること、前記ポリシロキサンが、単一成分のポリシロキサンであること、前記ポリシロキサンが、溶媒を含まないポリシロキサンであること、がそれぞれ好ましい。

また、本発明のかつらは、ボンネットの内面（５）が、請求項１から６のいずれか一項のかつら用の柔軟な接着部材（１）から少なくとも部分的に構成されており、前記ポリシロキサンの薄層または薄膜（３）からなる内面が、前記かつらをかぶるとき、ユーザーの頭の肌に取り付けられるように配向されていることを特徴とする。

頭髮（６）を支持する「ウェフト」または「横糸」が固定される全ての柔軟な接着部材（１）が、請求項１から６のいずれか一項のかつら用の柔軟な接着部材（１）、すなわち、支持繊維帯（２）および薄層または薄膜（３）から構成されること、天然または人工の頭髮（６）が、柔軟な接着部材に直接植え付けられること、がそれぞれ好ましい。

【発明の効果】

【００１６】

本発明は、上記に列挙した望ましい長所と、次のような有効な特徴とを有する。
柔軟な接着部材により、前記部材に天然または人工の頭髮が直接植え付けられる。

10

20

30

40

50

ポリシロキサン薄膜は、肌に接するとかかなり短時間で効果がはっきりと現われる接着品質を有する。

柔軟な部材の弾性特性が経時的に保持され、頻繁に洗浄しても影響を受けない。

【発明を実施するための最良の形態】

【0017】

本発明によれば、この目的は、内部支持体またはボンネットを、ユーザーの肌にくっつく柔軟な部品から少なくとも部分的に構成したかつらにより達成され、前記柔軟な部品は、柔軟な支持繊維帯(tissu)から構成され、その少なくとも片面に、前記かつらの使用時にユーザーの肌と接するように配向されたポリシロキサンの薄層または薄膜を塗布されている。

10

【0018】

より一般的には、本発明は、少なくとも片面にポリシロキサンの薄層または薄膜を塗布した柔軟な支持繊維帯からなる柔軟な接着部材からなり、前記片面が、このような柔軟な部材を用いて製造される製品を付ける人の肌に接するように構成される。

【0019】

上記の目的、特徴、および長所、あるいは他の目的、特徴、および長所は、以下の説明および添付図面から一層明らかになるであろう。

図1は、本発明による柔軟な接着部材の概略図である。

図2は、このような柔軟な接着部材を備えたかつらの裏面の概略的な特徴を示す斜視図である。

20

【0020】

上記の図面を参照しながら、少しも限定的ではないが、本発明による柔軟な接着部材およびかつらの有利な実施例について説明する。

【0021】

図1に示されるように、本発明による柔軟な接着部材1は、柔軟な支持繊維帯2からなり、前記支持繊維帯にそれ自体既知の塗布方法で塗布されるポリシロキサンの薄層または薄膜3が、少なくとも片面に塗布されている。

【0022】

好適には、薄層または薄膜3が、単一成分のポリシロキサンおよび/または、溶媒を含まないポリシロキサンから構成される。

30

【0023】

有利には、支持繊維帯2が、好適には複数の方向に延伸可能な弾性繊維からなる。これは、縦系および横系を持つ繊維、網状繊維、または不織繊維とすることができ、そのため、前記支持繊維帯2およびポリシロキサンからなるそのコーティング3が、同様に、2次元の弾性特性を有する。

【0024】

支持繊維帯に塗布されるポリシロキサンの薄層または薄膜3の好ましい膜重量は、100 ~ 300 g / m²である。

【0025】

本発明によるかつら4は、ボンネットの内面5が、図2に示されるように、上記の柔軟な接着部品1から少なくとも部分的に構成されており、ポリシロキサンの薄層または薄膜3からなる内面は、ユーザーが前記かつらをかぶるとき、ユーザーの頭部の肌に取り付けられるように配向されることを特徴とする。

40

【0026】

頭髮を支持する「ウェフト」または「横系」が縫いこまれるか嵌め込まれている弾性繊維帯からなるキャップまたはボンネットを、かつらが含む場合、これらの帯の少なくとも幾つかは、上記の柔軟な接着部材1(支持繊維帯2、薄層または薄膜3)から構成され、この部材に天然または人工の頭髮6が固定される。

【0027】

有利には、頭髮6を支持する「ウェフト」または「横系」を縫いこんだ全ての弾性帯が

50

、上記の柔軟な接着部品 1 から構成される。

【 0 0 2 8 】

この構成により、かつらまたは滑り止め層となる薄層または薄膜 3 がカバーする接触エリアがこれまでよりも広く、従って、かつらまたは滑り止め層が、ユーザーの額から襟首まで広範な面積に取り付けられるので、かつらの支持面を補強し、頭部への保持具合を改善することができる。

【 0 0 2 9 】

別の特徴的な構成によれば、天然または人工の頭髮 6 は、柔軟な接着部材 1 (支持繊維帯 2、薄層または薄膜 3) に、それらの下端を介して直接植え付けられる。

【 図面の簡単な説明 】

10

【 0 0 3 0 】

【 図 1 】 本発明による柔軟な接着部材の概略図である。

【 図 2 】 このような柔軟な接着部材を備えたかつらの裏面の概略的な特徴を示す斜視図である。

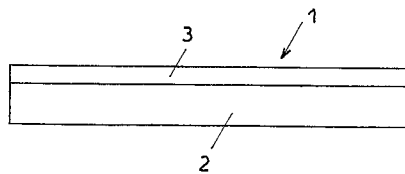
【 符号の説明 】

【 0 0 3 1 】

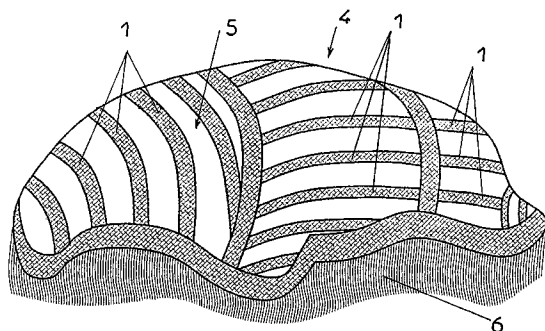
- 1 柔軟な接着部材
- 2 支持繊維帯
- 3 薄層または薄膜
- 4 かつら
- 5 ポンネットの内面
- 6 頭髮

20

【 図 1 】



【 図 2 】



フロントページの続き

(72)発明者 デヌレ, ニコル

フランス国、 9 2 1 0 0 ブーローニュ ビランクール、リュ ド ラ ローシュフーコウ 3 8

審査官 永安 真

(56)参考文献 特開平 0 6 - 0 4 1 8 0 4 (J P , A)

特開 2 0 0 1 - 0 8 9 9 2 1 (J P , A)

特開 2 0 0 0 - 2 3 9 9 1 2 (J P , A)

特開平 0 3 - 2 0 0 8 8 5 (J P , A)

実公平 0 3 - 0 0 4 2 7 4 (J P , Y 2)

(58)調査した分野(Int.Cl. , D B 名)

A41G 3/00